

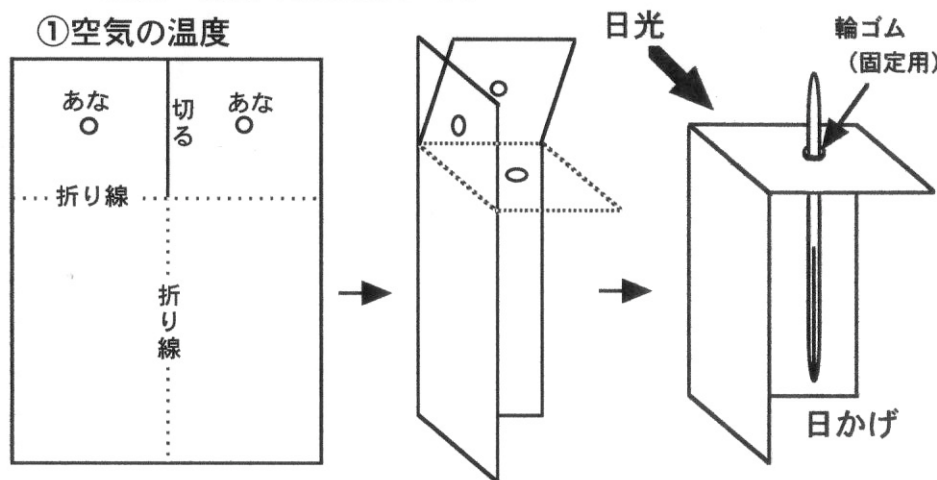
やってみよう!! 簡易気象観測器づくり

ねらい

簡易気象観測器をつくり、実際に測定してみる活動を通して、測定の仕方やコツをつかむことができる。

1. 気温・湿度の測定器づくり

①空気の温度



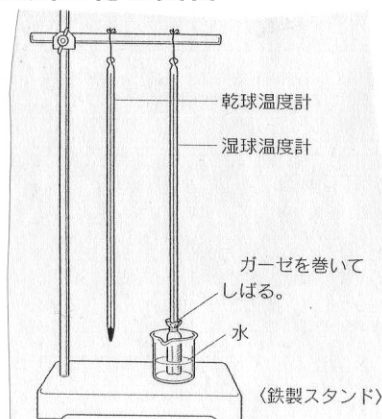
- 空気の温度を測るには、次のことに気をつける。
 - ・ 温度計に直射日光が当たらないこと
 - ・ 人の体温や建物などの熱反射を受けないこと
- 棒温度計の上部を持って、太陽の方向を向いて測るようになる。
- それでは実際に温度を測ってみましょう。

準備・材料等

厚紙（白ボール紙），輪ゴム，温度計，ガーゼ，ビーカー，鉄製スタンド，方位磁針，小角棒，荷物用のテープ（ポリプロピレン），画びょう，クリップ，虫ピン，ストロー，ビーズ，紙，木の棒，粘土

参考文献：新しい理科5上 教師用指導書 研究編 東京書籍

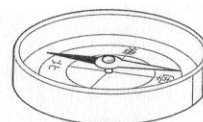
②空気の乾き具合



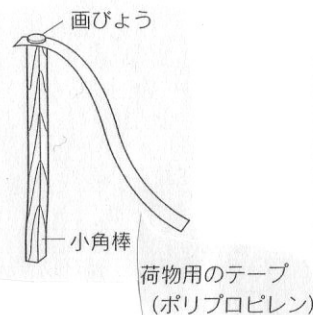
- 空気の乾き具合は、乾球温度計と湿球温度計での温度差を読めば、見当がつく。
- 乾湿温度計（通常は百葉箱に入っている）に、その温度差から湿度を読みとるための表が書かれている。

2. 風調べる器具

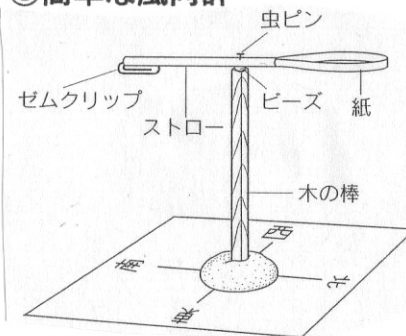
①方位磁針



②風の強さ調べ



③簡単な風向計



- ①の方位磁針で風が吹く方向を調べる。
- ②を使って、テープの揺れ具合で風の強さを調べる。
- 簡単な風向計は、校庭の真ん中の朝会用の台上か、屋上の出入り口の上に教師が設置して、子どもにだいたいの方向を見定めさせる。